

# こおりやま広域圏及び分野別ワーキングについて

## 1 連携中枢都市圏構想の概要

地域において、相当の規模と中核性を備える圏域において市町村が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成する制度

＜連携中枢都市圏形成のための手続き＞

連携中枢  
都市宣言  
(中心市)

連携協約  
締結  
(要議決)

都市圏  
ビジョン  
策定



経済成長のけん引

高次の都市機能の集積・強化

生活関連機能サービスの向上

## 2 こおりやま広域連携中枢都市圏(こおりやま広域圏)

郡山市及び関係14市町村では、連携中枢都市圏の形成及び平成31年度からの事業連携を目指し取組みを推進

▽ 構成：4市7町4村

郡山市(中心市)、須賀川市、田村市、本宮市、大玉村、鏡石町、天栄村、猪苗代町、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

▽ 人口：約59万人(福島県の約3割)

▽ 面積：約2,968km<sup>2</sup>(福島県の約2割)



## 3 分野別専門部会(事業ワーキング)

▽ 概要：こおりやま広域圏における**各事業分野の実務的な会議**  
⇒ 連携中枢都市圏ビジョンに掲載し取り組んでいく連携事業について、具体的な内容や役割分担等を検討する。

▽ 対象：15市町村の各事業実務担当者

▽ 編成：分野別に6つに分類(以下を参照)



	ワーキング分類	具定的な事業例
I	産業振興・観光	産業イノベーション、創業支援、6次化推進、スモールスタート支援 等
II	まちづくり・交通	中心拠点整備、広域公共交通、福島空港利活用、道路 等
III	医療・福祉・子育て	医療体制の広域連携、高齢者福祉、子どもの遊び場 等
IV	教育・文化・スポーツ	教育・文化・体育施設等の相互利用、教職員等交流 等
V	防災安全・住民生活	セーフコミュニティ、住民協働、災害対策 等
VI	総務企画・移住定住	ICT、高等教育、研修等、カイゼン、移住定住 等